



秋田大学医学部附属病院 令和2年9月7日発行

緩和ケアだより

緩和ケアチームは**新体制**になりました



6月より杉本侑孝先生が専従医師として赴任され、チームの層がさらに厚くなりました。

看護師、薬剤師に加えて、医師もチーム活動に専念できる環境となり、これまで以上に、病棟の状況に応じて柔軟な対応ができるようになると思っています。

今後ともよろしく申し上げます！



チーム回診やカンファレンスを行っているメンバーです。回診時には、皆さんにお声がけすることもありますので、よろしくお願いします。

おらせ

緩和ケアチームの
依頼方法と記録様式が変わります

すでに各診療科・各部署に書面でお知らせしていますが、8月1日から「緩和ケア診療加算」算定開始に伴い、緩和ケアチームへの依頼方法とチーム記録の様式が変更となりました。詳細は裏面をご参照ください。

これまでは、職種ごとに記録様式が異なり、チームとしての記録が電子カルテ内に散在している状態でしたが、診療支援システムの機能「チーム医療」を使うこととなり、記録の検索・確認が簡単にできるようになりました！

最初は少し不便に感じるかもしれませんが、不明な点がございましたら、いつでも緩和ケアセンターまでご連絡下さい。

裏に続く…



緩和ケアチームへの依頼方法

電子カルテを開いたら...

1. ツールボックスの「Menu」をクリック
2. 「部門業務2」をクリック
3. 「緩和ケアチーム介入依頼」をクリック

※入力フォームについて

- ・全部で3ページあります
- ・入力できるのは医師のみです



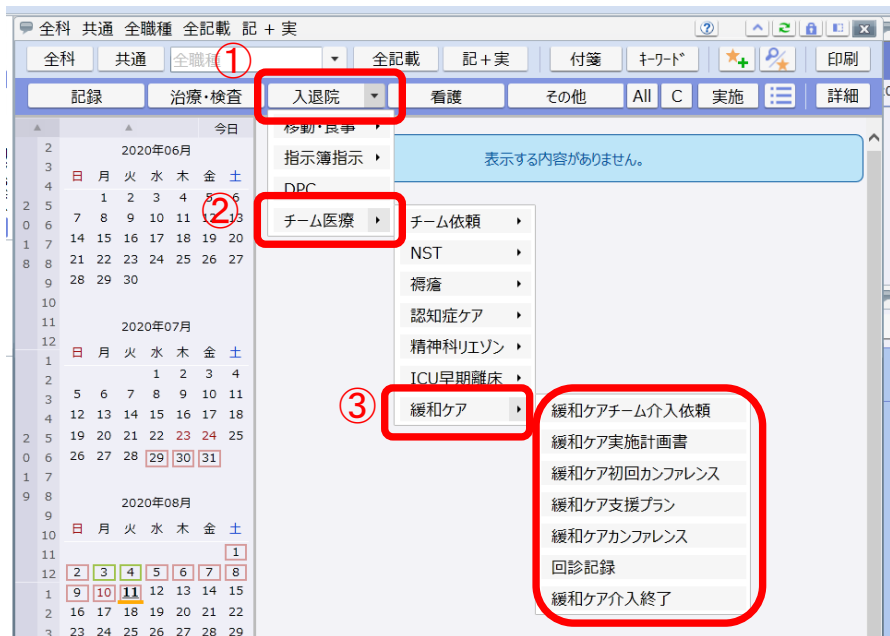
緩和ケアチームの記録の確認方法

電子カルテを開いたら...

1. 電子カルテ画面の左上「入退院」の▼をクリック
2. 「チーム医療」にカーソルを合わせる
3. 「緩和ケア」にカーソルを合わせて、確認したい記録を選択する（「緩和ケア」をクリックすれば全て選択される）

＜記録の種類＞

- ・緩和ケアチーム介入依頼
- ・緩和ケア実施計画書
- ・緩和ケア初回カンファレンス
- ・緩和ケア支援プラン
- ・緩和ケアカンファレンス
- ・回診記録



※「プログレスノート」「フォーカス記録」への記載は行いません

がん疼痛の薬物療法

に関するガイドライン(2020年版) 発売中です！



がん医療において、がん疼痛は遭遇する頻度の最も高い症状です。このガイドラインは6年振りの改訂となりましたが、その間にも新規オピオイドやオピオイド依存性便秘専用の治療薬が販売されたりと、日本のがん疼痛の治療は日々進化しています。患者さんにより良い医療を提供できるよう、がん医療に携わるスタッフの皆さんにもぜひ手に取っていただきたい一冊です。

2020年7月20日金原出版より発売 2860円（税込）